

## 課題部門・自由部門 作品応募チェックリスト（予選応募まで）

印刷して、応募時のチェック用に利用してください。

### 1. 募集要項の公開（4/2(月)）

#### チームの構成

プログラミングコンテストに応募して、一緒にプログラム開発を行ってくれるメンバーを集めます。プログラムの開発能力やマネージメント、リーダーシップなどを総合的に検討しましょう。

学生の重複登録、課題・自由部門での登録変更は認められていません。

#### チーム数の確認

課題部門、自由部門では、それぞれ各校2チーム以内に制限されています。

#### 人数の制限

1チームの人数は2?5名です。

#### 指導教員の決定

チームの面倒をみってくれる指導教員を決め、お願いします。応募、開発の指導、予選時の引率などで大変お世話になります。

応募時点からの指導教員の変更はできません。

#### 担当事務員の決定

実行委員会からの連絡、宿舍手配などでお世話になります。

### 2. システム設計の検討

#### 参加部門の検討

自分たちがチャレンジしたい部門を決定します。応募テーマや内容にあわせて適切な部門を選択しましょう。

#### アイデアの創出

システムのアイデアはプロコンにおいて重要な要素です。十分に検討を重ね、アイデアを出し合ひましょう。

あいまいな点を残したままにしておくと、開発の段階で問題となることもあります。

#### 本選までの計画

プロコンは短期間でシステム開発を完了しないといけません。予選応募の段階から計画を立て、無理が生じないかよく検討します。技術的な検討項目も列挙しておきましょう。

#### 開発環境の準備

指導教員と相談して、開発に必要なもの（PC、ツール、部屋等）を確保しておきましょう。

### 3. オンライン登録 (5/24(木)?5/31(木))

#### 登録作業

オンライン登録の処理は学生でも可能ですが、必ず指導教員の確認を得て行うようにしてください。登録の確認は、登録学生と指導教員に通知されます。

- タイトルは 30 文字以内か
- 副題は -いろはに- の形になっているか
- 特殊文字が含まれていないか
- 高専名等が含まれていないか
- 登録完了の確認

登録画面、電子メールで登録が正常に完了したことを確認します。登録番号・パスワードを控えておきましょう。

#### 4. 作品紹介 PDF ファイルの作成と応募 (5/24(木)?5/31(木))

「作品紹介」PDF ファイル作成ガイドを参考にして、自分のシステムを PR してください。

- PDF ファイルは A4 横置きになっているか
- 12 ページ以内になっているか
- (1 ページ目) タイトル、部門名、登録番号が記入されているか
- 以下の内容が十分検討され、かつ網羅されているか
- システムの目的
- 対象者は明記されているか
- システムの独創的な点
- 類似品との相違点
- 実現方法
- 実現の可能性
- 実行環境
- 開発環境
- 文字が小さすぎないか

14 ポイント以上 (ノート PC で閲覧して問題がない程度) が目安です

- 必要なフォントがすべて含まれているか
- ファイルは 1.44 MB 以内か
- AdobeReader 8 で問題なく読めるか

作成した端末とは別の PC での確認をお勧めします

- ファイル内に学校名等が特定できるものが含まれていないか

写真、地名等も含む

- 知的所有権を侵害していないか

既存システムの転用はもちろん、画像等の流用も問題になる場合があります。

- 文書のプロパティに学校名等が含まれていないか
- ファイル名は「登録番号.pdf」になっているか
- オンライン登録ページからの登録
- 指導教員に確認をしてもらいましたか
- 登録完了の確認

自動応答により受領確認のメールが届きます。登録したファイルは一覧ページで確認できますので、正しく登録されているか確認してください。

#### 5. 登録後にすべきこと

システム作成は設計の段階から始まっています。予選の結果を待って開発を始めるのではなく、技術的な検討や準備など、効率よく進めておくべきです。